

しながら、新市全域にわたり多くの方々からご意見をいただき、審議会等においても慎重に検討し、市町村建設計画、社会経済情勢並びに財政状況を十分踏まえたうえで、策定していかなければなりません。

さらに、この総合計画事業の採択にあたっては、建設計画と同様に、事業評価制度において、行政の関わり、事業の必要性・緊急性などを十分考慮し、政策バランスに配慮したうえで、是非かを定めるべきであると考えます。

融和と連携

市町村合併において最も大切な事は「新しいまちづくり」の為の体制を整えることでありま



す。五市町村が新市となり、お互いが融和・連携していくという意思を強く持ち、新市民が一体となって「まちづくり」を進めていける施策を展開することであると強く認識しております。

《速やかな「一体性確保を図るための事業について》

○市民生活の利便性を高め、多くの市民の方々の交流が図られるように、新市内にバス等を巡回させるなどの交通体系システムの構築。

○高齢者・障害者の方々を始め、全ての住民の方々が地域距離感を感じず活き活きとした生活を送ることができるよう、ITを活用した在宅福祉・地域福祉施策等の行政サービスの向上。

○木質バイオマスの有効利用。
など、今年度から、関係部局においてプロジェクトチームを立ち上げ、早急に調査研究を行い、平成十七年度中の事業実施に向けて取り組んでいく、という考えが事務局から示されました。
以上のような論議の結果、協議会議案第六十三号の「市町村建設計画に関すること」について、賛成多数で了承したことになります。

今後の取組み 合併してよかったと思える合併を

特別委員会として、切に願うことは、長年、津山市と共に、地域の発展のためご尽力いただいている加茂町、阿波村、勝北町、久米町の方々が、この津山市と合併をして、本当に良かったと思っただけの合併を行うことでもあります。合併後のまちづくりに対する不安や懸念を少しでも無くすこと、そして、新生津山市になったとき、本当に喜んでいただける施策とはどんなことなのか、今後も、十分な検討が必要です。

今後、調整が必要な協議項目については「合併協議会」の各専門部会又は分科会におきまして、最終調整に向け努力されています。調整内容の経過・結果については、当委員会に、逐次報告し、理解・了承されることが当然であることを、この場で強く申し上げておきます。

当委員会では、合併の二月二十八日まで、これらの課題に対してのチェックを怠ることなく、調査・研究を重ねていかなければなりません。そして、「地域が融和した、誇れるまちづくり」「地域が連携した思いやりのあるまちづくり」を目指し、「新生津山市」が、よりよいまちとなるよう、努力していくことを申し上げ中間報告とします。